



古楽の魅力 アカデミア・デル・リチェルカーレ京都公演

イタリアの旅 - バロックのフォリア

Viaggio in Italia - Le Follie del Barocco 1610 - 1710

2017年

4月25日(火)

19:00 開演 (18:30 開場)

会場：京都府立府民ホール アルティ

曲目

アルカンジェロ・コレリ (1653年 - 1713年)
合奏協奏曲 Op.6 No.2 二本のアルトリコーダーと通奏低音

ジョヴァンニ・バッティスタ・デリ・アントーニ (1636年 - 1698年)
チェロ独奏によるリチェルカーレ第2番

アントニオ・ヴィヴァルディ (1678年 - 1741年)
ソナタ ロ短調 RV35 声、フルート、通奏低音

ダリオ・カステッロ
ソナタ第4番 二本のアルトリコーダーと通奏低音

フランチェスコ・トゥーリーニ
セコンド・トーノのソナタ 二本のアルトリコーダーと通奏低音
ソナタ「イル・コリシノー」 二本のアルトリコーダーと通奏低音

アルカンジェロ・コレリ (1653年 - 1713年)
ソナタ ヘ長調 Op.5 No.4 アルトリコーダーと通奏低音

アントニオ・ヴィヴァルディ
フォリア RV 63 二本のアルトリコーダーと通奏低音

◆入場料 (全席自由・税込)

一般：2,500円
(アルティメイト、カルタレオナルド会員：2,000円)
学生：1,000円

2/25(土) 発売開始

◆取り扱い

京都府立府民ホール アルティ 075-441-1414
(9時～18時、第1、3月曜休館)

チケットぴあ 0570-02-9999 [Pコード：325255]
ローソンチケット 0570-084-005 [Lコード：57871]

Present !

先着300名様へ
オリーブオイルプレゼント
詳細は裏面へ

主催：イタリア文化会館 大阪

共催：京都府立府民ホールアルティ 協力：オリーブオイル宮津

後援：在大阪イタリア総領事館、トリノ市(イタリア)、京都府(予定)

京都市、KBS京都、朝日新聞京都総局、京都新聞(予定)

産経新聞社京都総局、日本イタリア会館、大阪日伊協会



Antonio
FANTINUOLI (チェロ)



Claudia
FERRERO (チェンバロ)



Lorenzo
CAVASANTI (リコーダー)



Manuel
STAROPOLI (リコーダー)

ACCADEMIA DEL RICERCARE

アカデミア・デル・リチェルカレは、11世紀から18世紀の古楽演奏を専門とする音楽家のグループで、1989年に結成。メンバー構成を変えつつも、結成以来イタリア国内外で800以上ものコンサートを行い、ルネサンス時代のもを忠実に再現した楽器と演奏者が一体になることで生み出される魅惑の音色と、正確な表現力によって多くの聴衆に感動を与えている。フランドル国際音楽祭、グラーツ古典音楽祭、カナリア諸島音楽祭、パリ・ルネサンス音楽祭、ボルツァーノ古典音楽祭といった名高い音楽祭に多数招待されている。これまでに13枚のCDをリリースし欧州の主要音楽雑誌で最高の評価を得ている。2015年にはカンヌ・クラシカル・アワードで世界最優秀独立レーベルのタイトルを2度も獲得した有名なドイツのレーベルCPO (Classic Produktion Osnabrück) と契約を結んだ。

Manuel Staropoli マヌエル・スタロポリ (リコーダー)

トリエステのG.タルティーニ音楽院でリコーダーを、トリノのG.ヴェルディ音楽院にフルートを専攻。L.カヴァサンティのもとでその技術を完成させた。イタリア国内外の700以上のコンクールや国際音楽祭等に出演し、ドロシー・オペリンガー、モーリス・シュテーター、ダン・ラウリン、コレギウム・プロ・ムジカ、ミラノ・ジュゼッペ・ヴェルディ交響楽団等と共演。大手レコードレーベルより多数CDをリリースし多くの賞を受賞。世界規模で活躍するヘヴィメタルバンド「ラプソディー・オブ・ファイア」のCDに奏者・作曲家として参加するなど活動の幅は多岐にわたる。古楽界で最も有能な講師たちが招かれるロマーノ・カナヴェーゼ (トリノ) の国際古楽コースの監督を2005年より務める。ロンドン王立音楽アカデミーをはじめヨーロッパの主要音楽学院にてリコーダー、フルート、古典音楽の演奏に関するマスタークラスと講義を多数開催。A.ステファニーニ音楽院、ジェノバニコロ・パガニーニ音楽院で教鞭をとり、現在はパリのN.ブッチーニ音楽院にてリコーダーを、ヴィチエンツァのA.ベドロロ音楽院にてフルートを教えている。

Lorenzo Cavasanti ロレンツォ・カヴァサンティ (リコーダー)

ケース・ブッケ、フランス・ブリュッヘン等のもとでリコーダーとフルートを学び、ベドロ・メメルスドルフ、エゼキエル・マリア・レコンドの指導のもとミラノで高校を卒業。トリブラ・コンコルディアの創設メンバー。モーツァルテウム管弦楽団、ミラノ・スカラ座管弦楽団、バイエルン放送交響楽団、ミュンヘン・パッサ管弦楽団といった数多くの重要なオーケストラでソリストとして演奏し、国際的な名声を獲得。2000年にはウィーン・コンツェルトハウスやロイヤル・アルバー・ホールで開催されるBBCプロムスで演奏。以降、モーツァルテウム、コンセルトヘボウ、ミラノ・スカラ座等で常にソリストとして演奏している。主要レコードレーベルから多数CDをリリースし音楽各誌で絶賛される。重要な音楽機関や大学でマスタークラスを多数開催。ボルツァーノのクラウディオ・モンテベルディ音楽院の教授、カタルーニャ高等音楽院、ザルツブルク・モーツァルテウム大学、ウィーン大学、ロンドン王立音楽大学、ストックホルム音楽大学の客員教授。

Antonio Fantinuoli アントニオ・ファンティヌオリ (チェロ)

チェロ専攻。古楽のチェロ奏法をマスターし、中でも通奏低音を得意とする。1998年からエウローパ・ガランテの創設メンバーの一人であるファビオ・ピオンディと共演、2010年からは主席チェロ奏者を務める。世界各地でのコンサートや、ブランデンブルク協奏曲、バッハ管弦楽組曲、映画「めぐり逢う朝」サウンドトラック、エウローパ・ガランテの全レコーディングなどの数十もの録音で活躍。ファブリツィオ・チブリアーニとのヴァイオリンとベースのソナタ (ヴィヴァルディ、マスチッティ、ダッラーバコ) は評論家からも絶賛された。2015年にはコンチェルト・クラシックスのアートディレクターに乞われ、最初のレコード企画としてキアロスクーロが生まれる。2016年ソロ楽器としてのチェロの誕生をテーマとしたCDを録音し2017年3月に発売される。現在、ジェノバにてスズキ・メソードでチェロを教える。

Claudia Ferrero クラウディア・フェッレロ (チェンバロ)

トリノのジュゼッペ・ヴェルディ音楽院にてピアノ・合唱音楽・合唱指揮・プレポリフォニーを専攻、ジェノバのニコロ・パガニーニ音楽院にてチェンバロを専攻し、古典鍵盤楽器で最高点で学士号を取得。その後、サルツォの音楽院のコースを受講、チェンバロと通奏低音でディプロマを取得。結成当初からアカデミア・デル・リチェルカレのメンバーであり、欧州の高名な古典音楽祭に多数参加、20ものCDをリリースした。有名な古楽アンサンブルやエンリコ・ディンド、ステファノ・モンタナリ等と共演。合唱指揮者としてトリノ大学合唱団やトリノ工科大学のVocalis Concentusと多くのコンサートを行い、彼らと共に2000年の大聖年のための2枚のCDを録音。2004年からロマーノ・カナヴェーゼの古典音楽に関する国際コースでのチェンバロと通奏低音の教授を務め、さらにボルツァーノ古典音楽フェスティバルの準備にも貢献している。現在はヴェルチェッリの音楽高校教諭。チェンバロ奏者として、合唱指揮者として700以上ものコンサートを行った。



OliveOil Miyazu

ご来場先着300名様に京都宮津とイタリアのコラボ
オリーブオイルミニボトルをプレゼント！
京都宮津では2016年からオリーブオイルを生産して
います。京都の日本海側で作られているオリーブ
を手摘み収穫、丹精こめてオリーブオイルを作りま
した。まだ生産量が少なく、とても稀少なオリーブ
オイルです。お問い合わせ: oliveoilmiyazu.jp

京都府立府民ホールアルティ

京都市上京区烏丸通一条下龍前町590-1
TEL: 075-441-1414

JR京都駅より地下鉄烏丸線へ乗り換え、
「国際会館行き」に乗車、今出川駅で下車。
6番出口を出て右手(南側)へ徒歩5分。
*会場には駐車場がございません。
市バス・地下鉄をご利用の上ご来場ください。



イタリア文化会館・大阪

イタリア文化会館・大阪は、西日本におけるイタリア文化の普及と日伊交流・友好の促進を目的に活動するイタリアの
政府機関です。その活動の一環として、コンサート・展覧会・映画上映会などの文化催事やイタリア語・イタリア文化
講座を開催しています。(Tel. 06-6227-8556 ホームページ <http://www.iicosaka.esteri.it>.)